

# かほだより

## ～牛伝染性リンパ腫新規感染を防ぐために～ 吸血昆虫対策のポイント

牛伝染性リンパ腫ウイルスは、血液を介して伝播することから、感染牛がいる農場においては吸血昆虫（アブ・サシバエ）の対策が重要です！

### ① 発生源対策（卵～幼虫）

一番重要！



成虫が増える前から始めましょう！

- ・ 昆虫発育抑制剤（IGR 剤）の定期的な散布（1～2週間間隔）
- ・ 畜舎の除糞・清掃
- ・ 堆肥は適切に切り返し、十分に発酵

### ② 成虫対策

#### 成虫駆除剤の散布

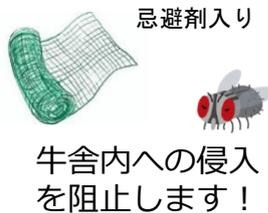


定期的な散布が効果的です！

#### 成虫の捕獲



#### 防虫ネットの設置



忌避剤入り  
牛舎内への侵入を阻止します！

#### 畜舎周囲の環境整備

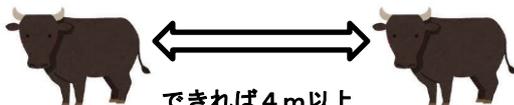


除草等で成虫の休息場所を減らします！

その上で・・・

### ③ 陽性牛と陰性牛の分離飼育

吸血昆虫の口器に付着した感染血が乾燥すると、牛伝染性リンパ腫ウイルスが失活します。つまり、感染牛を吸血した吸血昆虫が非感染牛へ移動するまでの時間を稼ぐことがポイントです。



できれば4m以上は離しましょう



距離を離すことができない場合

ネットなどの障害物を置いて吸血するまでの時間を稼ぎましょう

定期報告 未提出の方は 家畜保健衛生所まで提出願います。

担当：防疫課